

開講時期 前期・後期	授業科目 <b>演習 I・II (A・B)</b> Seminar I・II (A・B)	担当教員 <b>大磯 正美</b>																														
<b>授業目標</b> 国際関係全般と、現代アメリカに関わる領域で、研究方法の初歩を身につけ大学生活の総仕上げをする。																																
<b>授業概要</b> 3年生は統一テーマに取り組みながら、各自の関心の対象を絞り込んでいく。4年生は各自の卒論につながる個別研究に取り組む。14年度は「難民」、15年度は「民主化」。16年度は「帝国」。17年度は「国力」。																																
<b>授業方法</b> 講義は最小限にして、サブゼミの結果を議論する形で進める。論文の書き方を細かく指導し、力試しとして公募論文への応募を義務づける。これまでに入選者が続出している。																																
<b>授業展開</b> 卒論のテーマの具体例 <table border="0" data-bbox="299 705 1063 1304"> <tr> <td>日韓国交正常化</td> <td>北方地域の先住民の権利</td> </tr> <tr> <td>アメリカの黒人問題</td> <td>アフーマティブ・アクション</td> </tr> <tr> <td>バルト三国</td> <td>環日本海経済圏</td> </tr> <tr> <td>ブッシュ大統領の新世界秩序</td> <td>新しい日韓関係</td> </tr> <tr> <td>アメリカの移民と社会問題</td> <td>ソ連崩壊後の核兵器</td> </tr> <tr> <td>民族紛争—トルコ民族を中心に</td> <td></td> </tr> <tr> <td>CTBTの問題点</td> <td>日系アメリカ人の強制収容</td> </tr> <tr> <td>政治指導者のリーダーシップ</td> <td>日米安保体制</td> </tr> <tr> <td>米国の対中米・カリブ外交</td> <td>ケベック・ナショナリズム</td> </tr> <tr> <td>中国を中心としたミリタリーバランス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日英同盟と日米安保</td> <td>ベルリン</td> </tr> <tr> <td>NATOの東方拡大問題</td> <td>集団的自衛権</td> </tr> <tr> <td>沖縄の自立発展構想</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クリントン政権の対中政策</td> <td>韓米行政協定と日米地位協定</td> </tr> <tr> <td>米国における対日企業賠償訴訟</td> <td></td> </tr> </table>			日韓国交正常化	北方地域の先住民の権利	アメリカの黒人問題	アフーマティブ・アクション	バルト三国	環日本海経済圏	ブッシュ大統領の新世界秩序	新しい日韓関係	アメリカの移民と社会問題	ソ連崩壊後の核兵器	民族紛争—トルコ民族を中心に		CTBTの問題点	日系アメリカ人の強制収容	政治指導者のリーダーシップ	日米安保体制	米国の対中米・カリブ外交	ケベック・ナショナリズム	中国を中心としたミリタリーバランス		日英同盟と日米安保	ベルリン	NATOの東方拡大問題	集団的自衛権	沖縄の自立発展構想		クリントン政権の対中政策	韓米行政協定と日米地位協定	米国における対日企業賠償訴訟	
日韓国交正常化	北方地域の先住民の権利																															
アメリカの黒人問題	アフーマティブ・アクション																															
バルト三国	環日本海経済圏																															
ブッシュ大統領の新世界秩序	新しい日韓関係																															
アメリカの移民と社会問題	ソ連崩壊後の核兵器																															
民族紛争—トルコ民族を中心に																																
CTBTの問題点	日系アメリカ人の強制収容																															
政治指導者のリーダーシップ	日米安保体制																															
米国の対中米・カリブ外交	ケベック・ナショナリズム																															
中国を中心としたミリタリーバランス																																
日英同盟と日米安保	ベルリン																															
NATOの東方拡大問題	集団的自衛権																															
沖縄の自立発展構想																																
クリントン政権の対中政策	韓米行政協定と日米地位協定																															
米国における対日企業賠償訴訟																																
履修条件																																
評価方法																																
<b>テキスト・参考書</b> 特に定めないが、『講座国際政治』1～5巻（東大出版会）が基本。																																
<b>備考</b> ゼミは大学のエッセンス。2年間だけのものではなく、先生および先輩後輩と一生付き合うことになるので、慎重に選ぶこと。ゼミのホームページ <a href="http://oiso.net">http://oiso.net</a> 参照のこと。																																